

あい混声合唱団

第1回演奏会

道



2009年

5月5日(火・祝)

14:00開演 13:30開場

府中の森芸術劇場 ウィーンホール

後援：JCDA日本合唱指揮者協会 / 東京都合唱連盟

◆ ごあいさつ

あい混声合唱団 代表：星野 友紀央

ご来場の皆様、今日は連休の最中、あい混声合唱団の第1回演奏会〜道〜にお越しくださり、まことにありがとうございます。

2007年4月、「指揮者・相澤直人の合唱団」を作りたいという思いのもと、昔からの合唱仲間を中心に、16名ほどのメンバーであい混はスタートいたしました。その後2年間で、東京都合唱祭の出場、2つのジョイントコンサート「Cantabile!」「Tokyo Chorus Collection 2009」の開催・出演などを経て、活動3年目にして、団員数が30人を超えるとともに、本日の演奏会を迎えることが出来ました。この短い期間に、あい混がこれほどまで成長できたのも、ひとえに私たちをとりまく素晴らしい環境のおかげだと思います。

相澤先生のご紹介により、指揮者・清水雅彦先生、声楽家・古澤利人先生／北村さおり先生、ピアニスト・福崎由香先生をはじめとする沢山の素敵な先生方とお会いでき、音楽面で幅広くご指導頂いております。更には、千葉や東京で活躍されている他の合唱団の皆様、結成当初から練習会場を貸してくださっている三上久子様、そして団員のご家族・ご友人の皆様、数え切れないほど大勢の方々との出会い・お力添えがあったおかげで、現在のあい混が存在しております。

本日は、私たちが今まで歩んできた道への感謝の気持ちをお伝えするとともに、私たちがこれから歩む道にご期待いただけるような演奏会になれば幸いです。

短い時間ではございますが、どうぞ最後までお楽しみください。



合唱団お江戸コラリアーズ

あい混の記念すべき第1回演奏会の開催、おめでとうございます！

1月の「Tokyo Chorus Collection 2009」で一緒にさせていただいて、じっくりと深みのある音色とよどみなく流れる流麗な音楽に感動したことを昨日のように思い出します。風のウワサに、さらにメンバーが増えてパワーアップしたとか!? 急成長を見せるあい混が、今日どんな音楽を聞かしてくれるのか、とても楽しみです。

あい混の「道」はどこに向かっていくのかな？ かけがえのない一歩になりますように。

アンサンブル瑞樹

この度は演奏会のご開催、誠にありがとうございます。

「Tokyo Chorus Collection 2009」では、団員の皆様の音楽に取り組む前向きな姿勢に、私ども大変刺激を受けました。また貴団の演奏は、ハーモニーが美しくしっかりとした安定感があり、立ち上げられてまだ2年足らず(当時)とはにわかに信じ難かったのを覚えております。今回の演奏会でも観客の心を震わす演奏を聴かせてくださることでしょう。

最後になりましたが、本日の記念すべき第一回演奏会のご成功と、今後ますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

合唱団LAB

去る1月11日のジョイントコンサートで一緒に、私たちメンバーは貴団の演奏を拝聴しました。私たちはたまたま同じ曲を取り組もうとしていたところでしたので、リハーサル時に楽譜を持ち込んでリハーサルから何か盗もうと企んでおりましたが、そのまっすぐ美しい演奏に聴き惚れ、ページをめくることをすっかり忘れてしまいました。その演奏の素晴らしいさもさることながら、指揮者を中心としたメンバーの皆さんの気持ちよさが大変印象的でした。貴団の「道」にはたくさんの人の良き業が成ることと思います。

本日はおめでとうございます。

Program

指揮 相澤 直人
ピアノ 福崎 由香

~ Opening ~

The blue bird

作詩：M.Coleridge
作曲：C.V.Stanford

◆ FIVE CHILDHOOD LYRICS

作・編曲：J.Rutter

1. MONDAY'S CHILD
2. THE OWL AND THE PUSSY-CAT
3. WINDY NIGHTS
4. MATTHEW, MARK, LUKE AND JOHN
5. SING A SONG OF SIXPENCE

◆ 木下牧子無伴奏作品より

高原列車
おんがく
鷗
グリンピースのうた(女声)
きりん(男声)
めばえ

作詩：今成 敏夫
作詩：まど・みちお
作詩：三好 達治
作詩：宮田 滋子
作詩：天野 忠
作詩：みずかみ かずよ

~ Intermission ~

◆ 私たちの道

ぜんぶ
大きい木

作詩：さくらももこ
作曲：相澤 直人

The Lily and the Rose
Be thou my vision

作曲：B.Chilcott

◆ 寺山修司の詩による6つのうた「思い出すために」

作曲：信長 貴富

1. かなしみ
2. てがみ
3. 世界のいちばん遠い土地へ
4. ぼくが死んでも
5. 思い出すために
6. 種子

~ Closing ~

演奏曲紹介

Five Childhood Lyrics

John Rutter(1945-)はイギリスの作曲家・指揮者。ポップで印象的なメロディー、すっきりした和音を基調に、変拍子やジャズの要素を取り入れて現代性を持たせているのが特徴。特にアマチュア合唱団の間で世界的に人気が高い。指揮者としてケンブリッジ・シンガーズを率い、演奏活動、録音も数多い。

Five Childhood Lyrics(1973)は、日本の合唱団にもスタンダードなレパートリーとなりつつある作品。

1、4、5曲目の詩は日本でも「マザーグース」として知られている伝承詩。5曲目はメロディーも伝承されている童謡から採っている。2曲目はイギリスの代表的なナンセンス詩人Edward Lear(1812-1888)の詩で、英米で広く愛されている祝婚歌である。3曲目は「宝島」などで知られるイギリスの作家R.L.Stevenson(1850-1894)の詩集“A Child's Garden of Verses”より。不気味な詩の世界を、変拍子を多用した緊張感のある音楽で見事に表現している。

木下牧子無伴奏作品より

木下牧子の声楽作品には、音楽のみならず言葉への、並々ならぬ関心と感覚の鋭さを感じられる。旋律は詩の言葉の抑揚に常に寄り添っており、それと気づかないほどに自然に、聴く人を詩のイメージの中に誘い込む。中でも無伴奏合唱作品は大変親しみやすく、平易そうに思われるが、作品の世界を表現するためには、豊かな響きと緻密なフレージングが求められる。

「高原列車」：ア・カペラ混声合唱のための「春の予感」(1991)より。
今成敏夫のバステル画に添えられた詩に作曲された。
多彩な和音によって車窓の風景の変化を軽快に描き出している。

「おながく」：混声合唱曲集「うたよ！」(1995)より。
今年100歳を迎える詩人まど・みちおの詩と、旋律との一体感が素晴らしい。
音楽へのさらなる憧れをかきたてられる。

「鷗」：混声合唱曲集「夢みたものは」(1993)より。
若々しく親しみやすい、最も多く演奏される木下作品の一つ。

「グリンピースのうた」：無伴奏同声(女声)合唱組曲「グリンピースのうた」(1998)より。

「きりん」：無伴奏男声合唱のための「わたしはカメレオン」(2006)より。
当団としては初めて、女声と男声に分かれての演奏を試みる。

「めばえ」：1997年度NHK全国学校音楽コンクール高校の部課題曲。
ゆったりした4分の6拍子で歌われる、自然への祈りである。

寺山修司の詩による6つのうた「思い出すために」

信長貴富(1971-)は、いま合唱界で最も人気のある新進作曲家の一人である。聴く者・歌う者を魅了する、センスに満ち溢れたメロディーと、ポップスの特徴をもち、若者を中心に大きな支持を集める数々の作品を生み出している。

「思い出すために」は、2002年に女声二部合唱とピアノのための曲として書かれ、2003年に男声二部合唱、2004年に混声四部合唱に編曲された。

詩人としてだけでなく、歌人、俳人、映画監督、俳優、演出家など多くの顔を持ち、きわめて多彩な才能を発揮した寺山修司(1935-1983)。その詩の深遠な世界と、作曲者の「シンプルな形態で、いい旋律を明快に提示するというねらい」が見事に凝縮されているダイナミックな作品である。

当団では、本作品を2009年1月11日(日)に開催した「Tokyo Chorus Collection 2009」で演奏しており、本日は再演となる。

私たちの道

相澤 直人

「私たちの道」と題したステージでは、あい混声合唱団の思い出の曲を4曲披露いたします。

まず最初に無伴奏の曲を2曲。拙作ではありますが、先日の「Tokyo Chorus Collection 2009」の合同ステージでも演奏いたしました、相澤直人作曲「ぜんぶ」、そして「大きい木」です。

「ぜんぶ」の原曲はピアノのための小品でした。さくらももこ氏の詩集を読んでいた時に、ふとそのメロディーに詩が心地よく"乗る"感覚を覚え、思い切って合唱曲にアレンジしたのです。母校である八王子東高校に贈り、同校の合唱祭での課題曲としても演奏されました。

「大きい木」はちょうど20歳の時に作曲し、合唱作品としては処女作にあたります。これまでも何度か歌われておりますが、その度に"あーでもない"、"こーでもない"と少しずつ加筆、訂正を繰り返しました。前奏は女声四部のヴォカリーズ、中間部にはフラット7つの変ハ長調に転調するなど多少難しい部分もありますが、歌いやすく覚えやすいメロディーに和声付けをする、というシンプルだからこそ難しいコンセプトは10年前から変わっていない作曲スタイルです。

続きまして、ピアニストの福崎由香さんにご登場いただき、イギリスの人気作曲家 Bob Chilcott 氏の作品を2曲演奏いたします。あい混声合唱団が活動を開始したのは2007年4月のことでした。初回の練習で扱った曲がChilcott 編曲の「O Danny Boy」、初の舞台となった7月の東京都合唱祭で披露した曲が「The Lily and the Rose」と「Be thou my vision」でした。当時は指揮者の私も、団員も、これから合唱団がどういう道に進んで行くのか、周りを注意深く眺めながら一歩一歩慎重に歩んでおりました。この2曲はそのような大切な時期に試行錯誤しながら仕上げた思い出の曲です。

現在は3年前と比べると合唱団の規模も2倍近くに大きくなり、当時とは違う悩みも多々ありますが、もう一度「私たちの道」のスタート地点をここに確認し、これからも力強く私たち自身で「道」を切り拓いていきたいと思います。素敵なメロディー、素敵なハーモニーの珠玉の名曲です。

どうぞお楽しみください。



◆指揮者・ピアニスト



相澤 直人（あいざわ なおと）

1978年東京都町田市生まれ。4歳時よりピアノを始め、12歳で才能教育研究会の研究科三期全課程を修了。都立八王子東高校コーラス部で合唱を始めた事を契機に、音楽家への道を志す。東京芸術大学作曲科を経て指揮科に再入学。作曲を故・宍戸睦郎、野田暉行、尾高惇忠の各氏に、指揮を松尾葉子、鈴木織衛の各氏に師事。在学中よりアマチュアオーケストラ、合唱団等の指揮者として活躍する。

指揮科中退後は以前からの希望であった合唱指揮者として、ジャンルや年代を問わず様々な団体の指揮、指導をしている。日本合唱指揮者協会実行委員。かながわ合唱指揮者クラブ会員。



福崎 由香（ふくざき ゆか）

鹿児島県出身。愛知県立芸術大学音楽学部ピアノ専攻を経て東京芸術大学大学院ピアノ専攻を修了。愛知県立芸術大学首席卒業時に桑原賞を授与される。第16回鹿児島県新人演奏会において鹿児島県知事賞受賞。第70回読売新人演奏会出演。霧島音楽祭に奨学生として参加。第1回ドイツ音楽コンクールにて室内楽部門で奨励賞を受賞。これまで永野美佐子、(故) H.ミルヴィス、田辺緑、渡邊健二の各氏に師事。現在、二期会、日本音楽協会においてピアニストとして活動する他、2006年3月にソロリサイタル、2007年4月にジョイントリサイタルを開催するなどソロ、声楽伴奏、室内楽、合唱などの多くのコンサート、リサイタルに出演、共演するなど演奏活動を意欲的に行っている。

◆ヴォイストレーナー



北村 さおり（きたむら さおり）

東京純心女子短期大学（現・東京純心女子大学）音楽科卒。東京芸術大学卒、同大学院修了。第71回日本音楽コンクール（歌曲）第2位、第23回飯塚新人音楽コンクール大賞受賞。17年度文化庁在外研修員としてベルリンへ1年留学。「魔笛」夜の女王役にて二期会等に出演の他、「メサイア」「第九」はじめ宗教曲のソリスト、オーケストラとの共演も多い。2005年のデビューリサイタル（演連コンサート）以後毎年リサイタルを開催し、歌曲中心の意欲的なプログラムに高い評価を得ている。

レディースアンサンブルそよかぜ指揮者。アンサンブル桃花、あい混声合唱団ヴォイストレーナー。上智短期大学、東京純心女子大学非常勤講師。二期会、横浜シティオペラ会員。



古澤 利人（ふるさわ りひと）

東京芸術大学声楽科卒業。多田羅迪夫、水野賢司、大森誠、成田博之の各氏に師事。P.M.フェッラーロ・オペラマスタークラス'01修了。二期会オペラ研修所第51期マスタークラス修了。これまで「魔笛」パパゲーノ役の好演をはじめ、「フィガロの結婚」「愛の妙薬」「椿姫」「カルメン」等のオペラに主要な役で出演する。また、バッハ「カンタータ」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」、フォーレ「レクイエム」等のソリストを務める。ハーモニーベルズ、川口市民合唱団、混声合唱団「樹」、ペーレントール男声合唱団、ディズニージョイントIKSPIARIカウントダウン第九合唱団、指揮者。

あい混の歩み

※あい混公式 ホームページ内、「あい混の足跡」より

2007.1 : 合唱団立ち上げ実行委員会設立。

2007.3 : 常任指揮者を相澤 直人氏に決定。合唱団名を「あい混声合唱団」に決定。

2007.4.7 : 第1回練習。参加者16名。

2007.7.16 : 第62回東京都合唱祭に出演。初舞台。

曲目 : 『The Lily and the Rose』(B.Chilcott)
『Be thou my vision』(B.Chilcott)
ピアノ : 村井 沙千子

2008.1.13 : 「Cantabile! ～4 団による合唱の集い」に出演。

曲目 : 『A Little Jazz Mass』(B.Chilcott)
『交響詩 海』(三善 晃) 他
ピアノ : 福崎 由香、村井 沙千子

2008.6.28 : 「はるみさん家コンサート」(ダイケアサービスセンターin河口湖)を実施。

曲目 : 『7つの子どもうた』(信長 貴富/編) より
「一番はじめは」「通りゃんせ」「あんたがたどこさ」「ずいずいづころばし」
『ふるさとの四季』(源田 俊一郎/編) 他
ピアノ : 中山 博之

2008.7.21 : 第63回東京都合唱祭に出演。

曲目 : 『四つの優しき歌』(鈴木 輝昭)より「さびしき野辺」「朝に」
ピアノ : 福崎 由香

2009.1.11 : 「Tokyo Chorus Collection 2009」に出演。

曲目 : 『思い出すために』(信長 貴富)
『まるむしの唄』(相澤 直人)
ピアノ : 福崎 由香

2009.2.28 : ジュニアコーラス・フェアリーズとの交流会を実施。

あい混は、和気藹々の「あい」

音楽愛の「あい」

来週もまた会いましょう!の「あい」

あ～、い～ハーモニー!の「あい」

常任指揮者の名前からとって「あい」

何と言っても全員主役になれる一人称単数主格の「I」・・・。

様々な意味や願いをこめて名付けられました。

あい混では一緒に楽しく歌ってくださる団員をいつでも募集しております。練習は週に1回(各週土曜夜、月の最終週のみ日曜午後)多摩地区を中心に行っています。下記公式ホームページもご覧いただき、ご興味のある方はいつでもお問い合わせ下さい。

公式ホームページ : <http://ai-kon.info/>
お問い合わせ先 : otoiawase@ai-kon.info

団員リスト

Soprano

池内 尚美
井澤 久美子
井村 桂子
大西 美紀
小野 栄子
笠井 麻里子
勢万 唯子
瀧本 紘子
田坂 智子
山本 さや香

Alto

阿部 純子
稲垣 純子
岡村 梨沙
田中 真奈実
南崎 陽子
宮本 めぐみ
横山 史夜

Tenor

阿部 吉身
大屋 雅博
河岸 健介
昼間 伸一
村橋 悠
森本 然大
若尾 裕介

Bass

岡崎 泰雄
金子 奏
深瀬 圭司
星野 友紀央
三上 浩一
山下 雄司
渡辺 生

◆ Staff

《あい混運営委員会》

代表 : 星野 友紀央

会計 : 横山 史夜

渉外 : 笠井 麻里子

音楽局長: 岡崎 泰雄

事務局長: 若尾 裕介

《～道～実行委員会》

深瀬 圭司 / 河岸 健介 / 三上 浩一 / 笠井 麻里子

◆ Special Thanks

プログラム・チラシデザイン: 井村 浩子

ステージマネージャー : 草薙 みちる

ロビーマネージャー : 宇野 貴洋

ロビー・ステージ : 東洋大学混声合唱団、アンサンブル桃花

